

# 平成25年住宅・土地統計調査 調査票甲の記入のしかた



総務省統計局

調査票に記入する前に、本書をよくお読みください。

※インターネットにより回答する場合は、『オンライン調査利用ガイド』をご利用ください。

2ページに「世帯と世帯員の決め方」、3ページに「あなたの世帯の記入箇所」、  
4ページ以降に「調査票の記入例・記入についての説明」があります。

調査票の記入内容は、統計をつくるためだけに使うもので、  
その他の目的に使われることはありません。

◇ 「統計法」により、調査員をはじめ調査関係者が調査により知り得た  
事項を他に漏らすこと、調査票を徴税など統計を作る目的以外に使用  
することは固く禁じられています。

調査員が調査票を  
10月 日 ( )  
午前 時ごろ  
午後  
受け取りにうかがいます。

＜市区町村 連絡先＞

調査員の訪問日時の変更や調査票の追加が必要な場合は、  
上記の連絡先までご連絡ください。

● お配りした封筒に調査票を入れて、封をして提出することができます。  
その場合、調査員は開封せず、そのまま市区町村に提出します。

調査の内容、調査票の記入のしかたなどについて、分からない点がございましたら、  
調査員が訪問した際にご質問いただくか、下記のコールセンターにご連絡ください。

住宅・土地統計調査  
コールセンター

☎ 0570-08-5656

設置期間：平成25年10月27日(日)まで  
受付時間：午前8時～午後9時  
(土・日・祝日を含む。)

※一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。  
携帯電話の場合、所定の通話料金となります。

※IP電話・PHSの場合は、03-6800-2013におかけください。  
(この場合、所定の通話料金がかかります。)

●世帯と世帯員の決め方  
●あなたの世帯の記入箇所  
2・3ページ

●調査票の記入にあたって  
●調査票の記入についての  
説明(調査票第1面)  
4・5ページ

●調査票の記入に  
●ついての説明  
(調査票第2面)  
6・7ページ

●調査票の記入に  
●ついての説明  
(調査票第3面)  
8・9ページ

●調査票の記入に  
●ついての説明  
(調査票第4面)  
10・11ページ

## 世帯の決め方

- 一般の家庭のように住居と生計をともにしている人びとの集まりを一つの世帯
- 一人で1戸をかまえている人(一人でアパートなどに住んでいる人を含む。)は、一人で一つの世帯とします。

### ● 次の人たちは、それぞれに示すように世帯を決めます。

- ・ 間借りしている人
- ・ 同居している人
- ・ 住み込みの従業員



- ◆ 単身者…………… 一人で一つの世帯
- ◆ 夫婦などの家族…………… 家族ごとに一つの世帯

- ・ 単身の住み込みの家事手伝い



雇主の世帯に含めます

- ・ 会社や学校の寮・寄宿舎に住んでいる人



- ◆ 管理者・家主など…………… 一つの世帯
- ◆ 単身者…………… 棟ごとに一つの世帯
- ◆ 夫婦などの家族…………… 家族ごとに一つの世帯

## あなたの世帯に くだん住んでいる人 を世帯員とします

### くだん住んでいる人とは

10月1日(火)現在、あなたの世帯に、

- すでに3か月以上住んでいる人
- まだ3か月にならないが、3か月以上にわたって住むことになっている人

をいいます。

### ● 次の人たちは、それぞれに示す場所で調査します。

- ・ 単身赴任・出かせぎ・出張などで一時的に不在の人



- 自宅を不在にする期間が
- ◆ 3か月未満のとき…………… 自宅
  - ◆ 3か月以上にわたるとき…………… 赴任先、出かせぎ先、出張先など

- ・ 学校の学生寮・寄宿舎などから通学している学生・生徒



その学生寮・寄宿舎

- ・ 病院・療養所などに入院している人



- 入院してから
- ◆ 3か月にならない人…………… 自宅
  - ◆ すでに3か月以上の人…………… 入院先

- ・ 船に乗り組んでいる人



自宅

- ・ 2か所に住居をもっている人



くだん寝泊りする日数の多い住居

## あなたの世帯の記入箇所

調査票第1面下部の「世帯の種類」欄に記入してある世帯の種類に応じて、記入していただく欄が異なります。

※「世帯の種類」欄に記入がない場合は、お手数ですが1ページの<市区町村 連絡先>にご連絡ください。

★あなたの世帯は、次の①～⑤のうち、どれですか。

★図の塗りつぶされた箇所があなたの世帯の記入箇所です。

### 住宅に住んでいる世帯

#### ①主世帯

- ・ 1住宅で1戸をかまえている世帯
- ・ 2世帯以上が住む場合の家主などの世帯

#### ②同居世帯

- ・ 主世帯と生計をともにしていない親や子の世帯
- ・ 友人や同僚と住居をともにして住んでいる世帯
- ・ 住み込みの従業員の世帯

### 住宅以外の建物に住んでいる世帯

(会社・学校等の寮・寄宿舎、旅館・宿泊所、工場などの建物に住んでいる世帯)

#### ③管理者・家主などの世帯

#### ④一般の世帯(家族で住んでいる世帯)

#### ⑤単身世帯(単身者又は単身者の集まりの世帯)

図1…住宅に住んでいる主世帯が記入する欄

調査票甲 I あなたの世帯について 世帯の種類	II 世帯の家計を主に支える人について	III 現住居について	IV 現住居の敷地について	V 現住居以外の土地の所有について
第1面	第2面	第3面	第4面	第4面

図2…住宅に住んでいる同居世帯が記入する欄

調査票甲 I あなたの世帯について 世帯の種類	II 世帯の家計を主に支える人について	III 現住居について 12 床面積	IV 現住居の敷地について	V 現住居以外の土地の所有について
第1面	第2面	第3面	第4面	第4面

図3…住宅以外の建物に住んでいる管理者・家主などの世帯及び一般の世帯が記入する欄

調査票甲 I あなたの世帯について 世帯の種類	II 世帯の家計を主に支える人について	III 現住居について 11 1か月の家賃又は間代及び共益費又は管理費	IV 現住居の敷地について	V 現住居以外の土地の所有について
第1面	第2面	第3面	第4面	第4面

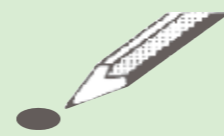
図4…住宅以外の建物に住んでいる単身世帯が記入する欄

調査票甲 I あなたの世帯について 1世帯の構成(ア)世帯人員の合計 世帯の種類	II 世帯の家計を主に支える人について	III 現住居について 9 居住室	IV 現住居の敷地について	V 現住居以外の土地の所有について
第1面	第2面	第3面	第4面	第4面

# 調査票の記入にあたって

- 調査票は、必ず**黒の鉛筆**又は**シャープペンシル**で記入してください。ボールペンや万年筆は、黒色でも使用しないでください。
- 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入してください。
- **枠からはみださない**ように記入してください。
- 調査票は、機械で読み取りますので、汚さないでください。

**記入例**



たて線1本  
すきまをあける  
上につきぬける  
角をつける  
はねない  
とじる

《マーク》  
マーク ○ は、● のようにぬりつぶします。

《数字》  
数字は、右づめで書きます。

26,897⇒   
十 万 千 百 十 一

【小数第一位まで記入欄がある場合】  
43⇒   
百 十 一  
0の場合でも書きます。

《文字》  
文字は、左づめで書きます。

福岡   
都道府県

福岡   
市郡等

東   
区町村

## 調査票の記入例・記入についての説明

### ■調査票 第1面

#### 1 世帯の構成

- あなたの世帯にふだん住んでいる人(世帯員)全員について書いてください。
- ふだん住んでいる人とは、**10月1日(火)現在**、あなたの世帯に、
  - ◆ すでに3か月以上住んでいる人
  - ◆ まだ3か月に足りないが、3か月以上にわたって住むことになっている人
 をいいます。
- 単身赴任や出かせぎなどで3か月以上にわたって不在の人は世帯員に含めません。
- 家族以外の人でも、あなたの世帯に3か月以上滞在しているか、滞在することになっている人がいる場合は、その人も世帯員に含めます。
 

※ 生計をともにしていない場合は、別の調査票に記入します。調査票がない場合は、1ページの<市区町村 連絡先>にご連絡ください。

記入者氏名 **統計 太郎**      電話番号 **123 - 456 - 7890** (記入内容にわからないことがあった場合の確認にのみ利用いたします)

**I あなたの世帯について**

**世帯の構成**

- ・ふだん住んでいる人についてもれなく記入してください
- ・単身赴任 出かせぎなどで この住居を離れて3か月以上 (その見込みを含む) になる人は除きます
- ・住み込みの家事手伝いも含めます
- ・住み込みの従業員や下宿人は別の世帯としますので 人員から除きます

(ア)世帯人員の合計 人 (数字は右づめで書いてください)

(イ)各世帯員の男女の別や年齢など

- ・年齢は 平成25年10月1日現在の満年齢を書いてください
- ・続き柄は 世帯の家計を主に支える人との続き柄を 右の選択肢の中から選んでその番号を書いてください

世帯の家計を主に支える人	男女の別	年齢	配偶者の有無	続き柄
1	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	<input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="1"/>
2	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="4"/> <input type="text" value="8"/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="2"/>
3	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	<input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="3"/>
4	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="8"/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="3"/>
5	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="7"/> <input type="text" value="0"/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="5"/>
6	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>
7	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>
8	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> 歳	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>

この調査票は機械にかかけますので汚さないでください

本人(世帯の家計を主に支える人)

【続き柄の選択肢】

- 2 配偶者
- 3 子
- 4 子の配偶者
- 5 父母
- 6 配偶者の父母
- 7 孫
- 8 祖父母
- 9 兄弟姉妹
- 10 他の親族
- 11 その他

#### 世帯の家計を主に支える人

- 「世帯の家計を主に支える人」とは、あなたの世帯にふだん住んでいる人で、家計の主な収入を得ている人をいいます。
- ふだん住んでいない単身赴任中の配偶者からの送金により家計を支えているような場合は、送金をしている人ではなく、あなたの世帯のうちの一人を代表者とし、その代表者をこの欄に記入します。(この場合、単身赴任中の配偶者はあなたの世帯には含めません。)

#### 配偶者の有無

- 配偶者があなたの世帯に含まれない場合でも、配偶者「あり」とします。

#### 続き柄

- 続き柄は、本人(世帯の家計を主に支える人)からみた続き柄を、世帯員ごとに選択肢の中から選んで書きます。

#### 世帯の種類 (調査員が記入する欄)

- 「世帯の種類」欄に記入してある世帯の種類に応じて、調査票に記入していただく欄が異なります。
- 3ページの「あなたの世帯の記入箇所」を確認する際に参照します。

＜調査員記入欄(世帯では記入しないでください)＞

世帯の種類	
住宅に居住している世帯	住宅以外の建物に居住している世帯
● 主世帯	○ 会社等の寮・寄宿舎
○ 同居世帯	○ 学校等の寮・寄宿舎
	○ 旅館・宿泊所
	○ その他の建物
	○ 管理者・家主などの世帯
	○ 一般の世帯
	○ 単身世帯

事務使用欄      調査単位区番号      建物番号      住宅番号      調査票番号

     --     



● 調査票の記入にあたっての調査票の記入についての説明(調査票第1面)

2 世帯全員の1年間の収入(税込み)

- ここでいう収入には、内職・副業による収入や年金・恩給などの給付金も含めます。
- 相続・贈与や退職金などの一時的な収入は含めません。

3 勤めか 自営かなどの別

- 「会社・団体・公社又は個人」には、会社・団体の社長・取締役・理事などの役員も含めます。
- 「商工その他」には、個人経営の商店主・工場主のほか、開業医・弁護士・画家や家庭で内職をしている人も含めます。

4 通勤時間(片道)

- 自宅を出てから勤め先に着くまでのふだんの所要時間を記入してください。
- 外務員、バスの運転者などのように雇われて戸外で仕事をしている場合は、所属している会社、営業所などまでの通勤時間を記入してください。

5 子の住んでいる場所

- 子の住んでいる場所までの所要時間は、ふだん行き来している交通手段(徒歩を含む。)によるものとし、所要時間には、乗り換えや待ち合わせの時間も含めます。

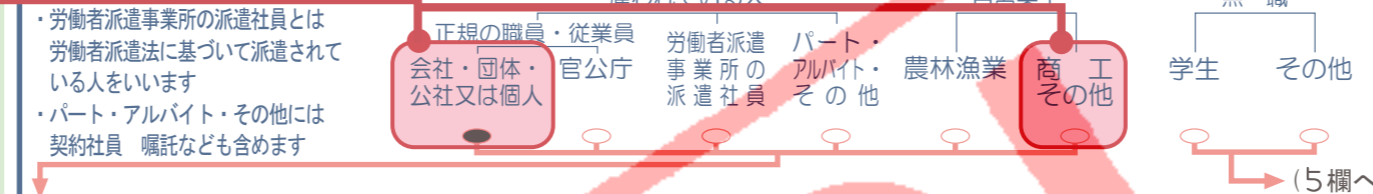
I あなたの世帯について(つづき)

2 世帯全員の1年間の収入(税込み)

・ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入 年金なども含めます	100	100	200	300	400	500	700	1000	1500	2000
・仕送り金も収入とします	万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	700万円未満	1000万円未満	1500万円未満	2000万円未満	万円以上
・自営業の場合は 売上高ではなく 営業利益を記入してください	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

II 世帯の家計を主に支える人について

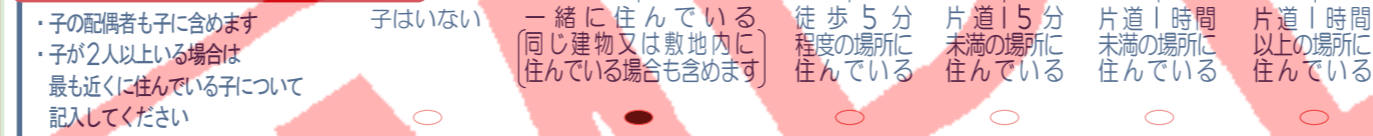
3 勤めか 自営かなどの別



4 通勤時間(片道)

自宅・住み込み	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

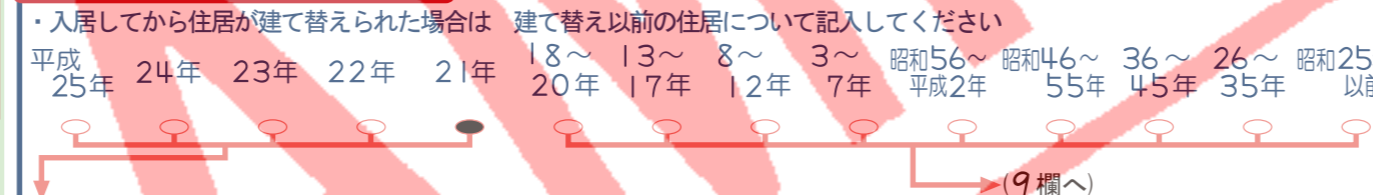
5 子の住んでいる場所



6 東日本大震災による転居



7 現住居への入居時期



8 前住居 (ア)どこに住んでいましたか



(イ)どんな住居に住んでいましたか

- 親の持ち家又は親が借りている家に住んでいた場合は「親その他の親族の家」とします
- 民営の賃貸住宅
  - 一戸建・長屋建(テラスハウスを含む)
  - 共同住宅
- 都道府県・市区町村営賃貸住宅
- 都市再生機構(UR)・公社などの賃貸住宅
- 給与住宅(社宅・公務員住宅など)
- 持ち家
  - 一戸建・長屋建(テラスハウスを含む)
  - 共同住宅
- 親その他の親族の家
- 下宿・間借り又は住み込み
- 寮・寄宿舎
- その他

- (ウ)その居室全体の広さは何畳でしたか
- ・洋間の場合も畳数に含めます
- ・食事室兼台所(ダイニング・キッチン)は居室に含めますが、流しなどの部分を除いた広さが3畳に満たない部分は含めません

その畳数

(小数第1位まで)  畳

又は  千  百  十  平方メートル

(小数点以下は四捨五入)

6 東日本大震災による転居

- (ア)東日本大震災により転居しましたか
- ここでいう転居には、以下の(イ)に示す理由によるすべての転居を含めます。
- 震災により一度でも転居した場合は「転居した」とします。

(イ)転居の主な理由は何ですか

- 「住宅に住めなくなった」とは、住宅が半壊又は全壊した、居住地域が避難地域に指定されたなどにより、住宅に住めなくなった場合をいいます。
- 「その他」とは、上記以外で、例えば、就学や仕事の関係、生活への全般的な不安感などが理由で転居した場合をいいます。
- 震災による転居を複数回した場合は、最初に転居した際の主な理由を記入してください。

7 現住居への入居時期

- 生まれたときから引き続き、現在の住居に住んでいる場合は、出生時を入居時期とします。


8 前住居

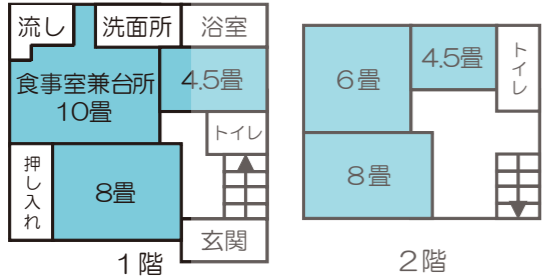
(ア)どこに住んでいましたか

- 前住居が「他の市区町村」の場合は、住んでいた都道府県、市区町村名を書いてください。

● 調査票の記入についての説明 (調査票第2面)

9 居住室

- 「居住室」とは、居間・茶の間・寝室・書斎・客間・仏間・食事室などをいいます。(下の図では、の部分になります。)




10 持ち家か 借家などの別

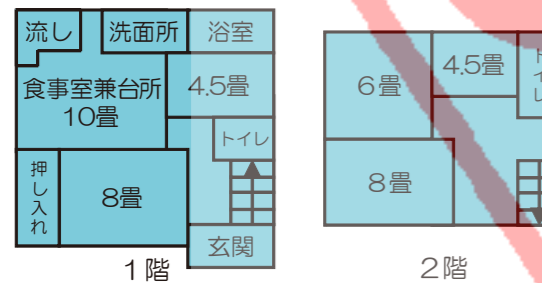
- 「持ち家」には、登記が済んでいない場合や、ローンなどで支払いが完了していない場合も含めます。

11 1か月の家賃又は間代及び共益費又は管理費

- 「家賃又は間代」には、共益費・管理費は含めません。
- 同居世帯がある世帯では、同居世帯の分も含めた総額を記入してください。同居世帯では同居世帯で負担している額を記入します。

12 床面積

- 「床面積」には、住宅全体の床面積を書きます。(下の図では、の部分になります。)



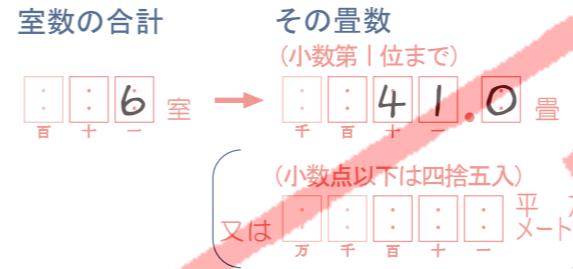
- 同居世帯がある世帯では、同居世帯が使用している部分の床面積も含めます。

III 現住居について

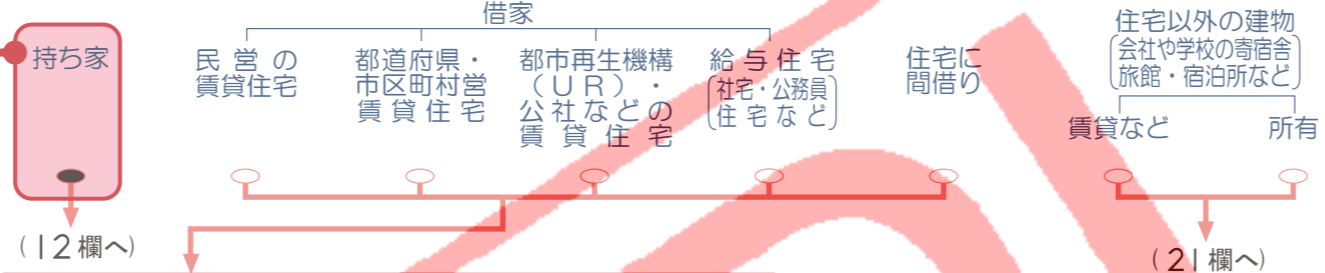
同居世帯では、9欄から11欄を記入した後、21欄(第4面)に進んでください。

9 居住室

- 洋間の場合も畳数に含めます
- 食事室兼台所(ダイニング・キッチン)は居住室に含めますが流しなどの部分を除いた広さが3畳に満たない部分は含めません
- 同居世帯がある世帯では 同居世帯が使用している室も含めます
- 同居世帯では 使用している室数の合計とその畳数を書いてください



10 持ち家か 借家などの別



11 1か月の家賃又は間代及び共益費又は管理費

● 無料の場合は「0」円と書いてください

家賃又は間代  円

共益費又は管理費(共用部分の電気料・清掃費など)  円

12 床面積

床面積の合計(延べ面積)  平方メートル

うち1階の床面積  平方メートル

(又は  坪) (又は  坪)

13 建築の時期(完成の時期)

● 建て増しや改修をした場合は その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば その時期を建築の時期とします

平成 25年 24年 23年 22年 21年 18~20年 13~17年 8~12年 3~7年 昭和56~平成2年 昭和46~55年 36~45年 26~35年 昭和25年以前

14 台所の型

● 2か所以上ある場合は あなたの世帯がふだん使用している台所について記入してください

● ワンルームマンションのように居住室が1室だけの住宅で 間仕切りされていない台所(流し)が付いている場合は 「その他」とします

独立の台所(K)  他用途と兼用の台所: 食事室兼用(DK)  食事室・居間兼用(LDK・LK)  その他  他世帯と共用の台所(流し)

15 高齢者等のための設備等

● 当てはまるものすべてに記入してください

手すりがある: 玄関  トイレ  浴室  脱衣所  廊下  階段  居住室  その他

またぎやすい高さの浴槽  廊下などが車いすで通行可能な幅  段差のない屋内  道路から玄関まで車いすで通行可能  これらの設備はない

16 省エネルギー設備等

(ア) 太陽熱を利用した温水機器等がありますか  あり  なし

(イ) 太陽光を利用した発電機器がありますか  あり  なし

(ウ) 二重サッシ又は複層ガラスの窓はありますか  すべての窓にある  一部の窓にある  ない

<参考>

面積の単位換算早見表【畳 → m<sup>2</sup> ← 坪】

畳	m <sup>2</sup>	坪	畳	m <sup>2</sup>	坪
0.5	0.8	0.25	8.0	13.2	4.00
1.0	1.7	0.50	9.0	14.9	4.50
2.0	3.3	1.00	10.0	16.5	5.00
3.0	5.0	1.50	15.0	24.8	7.50
4.0	6.6	2.00	20.0	33.1	10.00
4.5	7.4	2.25	30.0	49.6	15.00
5.0	8.3	2.50	40.0	66.1	20.00
6.0	9.9	3.00	50.0	82.6	25.00
7.0	11.6	3.50	100.0	165.3	50.00

1畳=1.65289m<sup>2</sup>=0.5坪

15 高齢者等のための設備等

- 「またぎやすい高さの浴槽」とは、洗い場から浴槽の縁までの高さが高齢者や障がい者に配慮した高さの浴槽をいいます。高齢者用の場合は、約30~50cmとします。
- 「廊下などが車いすで通行可能な幅」は、一般的な車いすでは、約80cmです。
- 「段差のない屋内」とは、高齢者などが屋内で段差につまずいたりしないように設計されたものをいいます。なお、玄関の「上がりかまち」や階段は、ここでいう段差には含めません。

16 省エネルギー設備等

- (ウ) 二重サッシ又は複層ガラスの窓はありますか
- 二重サッシとは、外窓と内窓が二重(又は三重)構造となった窓のことをいいます。
  - 複層ガラスとは、複数枚のガラスを組み合わせ、すき間に空気層をつくることによって断熱効果をもたせたものをいいます。

● 調査票の記入に ついての説明 (調査票第3面)

17 住宅の建て替え 新築 購入などの別

- 「新築した（建て替えを除く）」とは、新しく住宅（持ち家）を建てた場合、あるいは以前にあった住宅以外の建物や施設を壊して、そこに新しく住宅（持ち家）を建てた場合をいいます。
- 「新築の住宅を購入」とは、新築の建て売り住宅又は分譲住宅を購入した場合をいいます。

18 平成21年1月以降の住宅の増改築 改修工事等

- 東日本大震災による被災箇所を改修（復旧）工事した場合、この欄にも記入します。

19 平成21年1月以降における住宅の耐震診断の有無

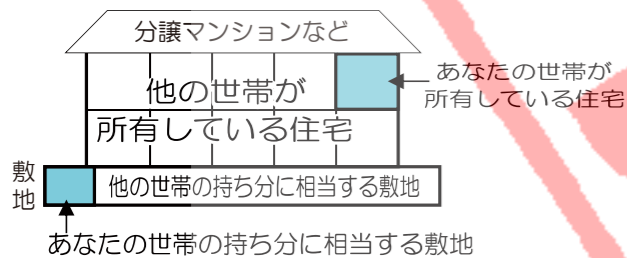
- 耐震診断とは、建築事業者などの建築士に依頼して、地震に対する安全性について調べることをいいます。

21 所有地か 借地かなどの別

- 「定期借地権など」には、建物譲渡特約付借地権を含めます。

22 敷地面積

- 分譲マンションなどで、建物内の各住宅の持ち分に応じて建物全体の敷地の一部を所有している場合は、あなたの世帯の持ち分に相当する敷地について書いてください。



Ⅲ 現住居について（つづき）

17 住宅の建て替え 新築 購入などの別

建て替えとは 以前にあった持ち家を壊してそこに新築することをいいます

建て替えた  新築した（建て替えを除く）  中古住宅を購入  新築の住宅を購入  都市再生機構（UR）・公社など  民間  相続・贈与で取得  その他

18 平成21年1月以降の住宅の増改築 改修工事等

（ア）住宅の増改築や改修工事等をしたか

増改築や改修工事等をした  増築・間取りの変更  台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事  天井・壁・床等の内装の改修工事  屋根・外壁等の改修工事  壁・柱・基礎等の補強工事  窓・壁等の断熱・結露防止工事  その他の工事

東日本大震災による被災箇所を改修工事をした  工事していない

（イ）高齢者等のための設備の工事をしたか

将来に備えて工事した場合も含めます  階段や廊下の手すりの設置  屋内の段差の解消  浴室の工事  トイレの工事  その他  工事した  工事していない

19 平成21年1月以降における住宅の耐震診断の有無

耐震診断をした  耐震性が確保されていた  耐震性が確保されていなかった  耐震診断をしていない

20 平成21年1月以降における住宅の耐震改修工事の有無

当てはまるものすべてに記入してください

工事した  壁の新設・補強  筋かいの設置  基礎の補強  金具による補強  その他  工事していない

Ⅳ 現住居の敷地について

21 所有地か 借地かなどの別

所有地・借地以外とは アパートや一戸建の借家などで 現住居の敷地の所有権又は借地権がない場合をいいます

所有地  一般の借地権  定期借地権など  借地  所有地・借地以外  一戸建・長屋建（テラスハウスを含む）  その他（アパートなど）

22 敷地面積

マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分（区分所有分）について書いてください

（小数点以下は四捨五入）

158 平方メートル

（小数点以下は四捨五入）

又は 坪

23 取得方法・取得時期等

（ア）だれから買ったり借ったりなどしたのですか

国・都道府県・市区町村  都市再生機構（UR）・公社など  会社などの法人  個人  相続・贈与  その他

（イ）いつ買ったり借ったりなどしたのですか

平成25年  24年  23年  22年  21年  18~20年  13~17年  8~12年  3~7年  昭和56~平成2年  昭和46~55年  36~45年  26~35年  昭和25年以前

Ⅴ 現住居以外の土地の所有について

あなたの世帯の世帯員（世帯主を含む。）が名義人（共有の場合を含む。）となっている土地について記入してください。

24 現住居以外の土地

（ア）所有していますか

所有している  所有していない  （記入おわり）

（イ）土地の種類

当てはまるものすべてに記入してください

宅地など（農地・山林以外の土地）には住宅用地や事業用地のほか原野 荒地 池沼なども含めます

農地とは 田 畑 果樹園 牧場として使用している土地をいいます

宅地など（農地・山林以外の土地）  農地  山林

23 取得方法・取得時期等

- （ア）だれから買ったり借ったりなどしたのですか
- 複数の方法によって取得した場合は、最も面積の大きい部分を取得した方法について記入してください。
  - 仲介者ではなく、敷地を買ったり借ったりした相手方について記入してください。
- （イ）いつ買ったり借ったりなどしたのですか
- 借地の場合は、契約更新時期ではなく、最初の契約時期について記入してください。
  - 相続や贈与によって敷地を取得した場合は、相続や贈与を受けた時期について記入してください。

24 現住居以外の土地

- （イ）土地の種類
- 登記簿上は田、畑、牧場、山林となっている土地であっても、住宅が建っているなど利用現況が異なる場合は、ここでいう「農地」や「山林」には含めません。

### 住宅の規模が特に大きい日本海側の県

平成 20 年住宅・土地統計調査の結果からみた 1 住宅当たりの延べ面積は、全国平均で 94.13 m<sup>2</sup>となっています。これを都道府県別にみると、富山県が 151.37 m<sup>2</sup>と最も広く、以下、福井県、秋田県、山形県、新潟県の順で続いており、日本海側の各県で住宅の規模が大きくなっています。

一方、最も狭いのは東京都の 63.94 m<sup>2</sup>で、大阪府、沖縄県、神奈川県、京都府がこれに続いています。

1 住宅当たり延べ面積-都道府県（平成 20 年）

